

キャリア入門

担当教員 村上了太(9回)、名嘉座元一(3回)、永田伊津子(3回)

対象学年 1年

開講時期 前期・後期

単位区分 選択

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義は、大学生生活とその先を考えるために設けられた。たとえば「学生として、今何をすれば良いか分からない」、「将来の進路に不安がある」、「大学生生活はこんなはずではなかった」などと感じて日々を過ごしている学生も少なくないであろう。学生生活のまただ中における憂いを取り除く、卒業後の自分の姿を描けるようにするには、入学後なるべく早期に自分のキャリアを考えることが重要であるといえる。そこで本講義では複数の講師の視点から「働くとは？」を主要テーマにした講義を実施する。卒業時点で1人でも多くの学生に進路決定（就職、進学、起業など）の向上を促せるようにしたい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	沖縄国際大学の歴史・教育機関としての発展、大学で学ぶということ
3	県内の就職動向①（若年者を取り巻く厳しい環境）
4	県内の就職動向②（沖縄県の若年者に対する支援について）
5	県内の就職動向③（沖縄県の企業誘致の取り組み）
6	国内の就職動向①（全国と沖縄の産業構造や就業環境の違い）
7	国内の就職動向②（労働環境の変化、正規／非正規）
8	国内の就職動向③（社会人基礎力を学ぶ）
9	海外の就職動向①（沖縄の地理的特性と可能性）
10	海外の就職動向②（先輩から学ぶ一体験談を通して）
11	1年次にすべきこと
12	2年次にすべきこと
13	3年次にすべきこと
14	4年次にすべきこと
15	まとめ
16	期末試験

【履修上の注意事項】

- 1) 講義への遅刻、講義中の私語や携帯電話（スマホを含む）利用は厳禁
- 2) 受講前後で自分の思考に変化が起きるかも知れないという知的好奇心や探究心を持ってもらいたい。

【評価方法】

出席（50%）＋試験（50%）で評価する。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考文献】

講義中に指示する。

キャリア・デザインA

担当教員 村上 了太

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義は、企業活動を通して「働く意味」を理解することが目的である。キャリア教育科目群における「キャリア・デザインA」では、1) 企業経営者とはどのような存在なのか、2) 日頃どのようなことを考えて行動しているのか、そして3) 企業は学生に何を求めているのか、などを外部講師によって講演頂くことにする。この講義を端緒にして進路決定ための情報源であるキャリア支援課の利活用を促し、さらに本学における進路決定率の向上を図ることにしたい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション (評価の方法、講義の進め方)
2	企業経営者とのQ&A①
3	企業経営者とのQ&A②
4	企業経営者とのQ&A③
5	企業経営者とのQ&A④
6	企業経営者とのQ&A⑤
7	企業経営者とのQ&A⑥
8	企業経営者とのQ&A⑦
9	企業経営者とのQ&A⑧
10	企業経営者とのQ&A⑨
11	企業経営者とのQ&A⑩
12	企業経営者とのQ&A⑪
13	企業経営者とのQ&A⑫
14	企業経営者とのQ&A⑬
15	総括 ー大学で学ぶ意義ー
16	期末試験

【履修上の注意事項】

- 1) 遅刻は欠席扱いとする。
- 2) 質疑応答できる学生を求める。
- 3) 私語を迷惑と思わない学生には履修を勧めない。
- 4) 敬語を話せるようになってもらいたい。

【評価方法】

出席 (50%) と試験 (中間25%+期末25%) で評価する。なお、その他の評価方法は学則による。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考文献】

講義中に指示する。

キャリア・デザインB

担当教員 村上 了太

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義は、企業活動を通して「働く意味」を理解することが目的である。キャリア教育科目群における「キャリア・デザインB」では、1) 企業に対するイメージと現実のギャップ、2) 就職活動を通して先輩学生はどのような道を歩もうとしているのか、などを講義する。講義の一部は、学生によって就職活動の状況を報告する時間に費やしたい。また大学内外の制度や組織を使って、在学生の進路決定を支援することにした。また情報源であるキャリア支援課の利活用を促し、さらに本学における進路決定率の向上を図ることにした。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション (評価の方法、講義の進め方)
2	社会人基礎力を知る
3	自分を知る
4	ブラック企業とは何か①
5	ブラック企業とは何か②
6	ブラック企業とは何か③
7	ブラック企業とは何か④
8	中間試験
9	業界研究①
10	業界研究②
11	業界研究③
12	業界研究④
13	業界研究⑤
14	業界研究⑥
15	まとめ
16	期末試験

【履修上の注意事項】

- 1) 遅刻は欠席扱いとする。
- 2) 質疑応答できる学生を求める。
- 3) 私語を迷惑と思わない学生には履修を勧めない。
- 4) 受講生以外の内定報告を多用するため、積極的に質問できる学生を求める。

【評価方法】

出席 (50%) と試験 (中間25%+期末25%) で評価する。なお、その他の評価方法は学則による。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考文献】

講義中に指示する。

ジョブ・インタビュー入門

担当教員 松堂 美和子

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

本講義は、企業訪問とそのプレゼンテーションを中心とする講義を通して「働く意味」を理解することが目的である。キャリア教育科目群における「ジョブインタビュー入門」では、1) ビジネスマナーの体得、2) 傾聴力と発進力の養成、などを理解する。講義のまとめとして、公開授業を2回に分けて実施し、講義の成果を受講生以外にも広める。本講義を契機としてキャリア支援課の利活用を促し、進路決定に貢献したい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	ビジネスコミュニケーション①（電話のかけ方、受け方）
3	ビジネスコミュニケーション②（質問力をつける）
4	訪問のための事前学習①（訪問企業の選定）
5	訪問のための事前学習②（訪問企業の研究）
6	企業訪問①
7	企業訪問②
8	中間発表
9	グループ討論①
10	グループ討論②
11	企業訪問③
12	企業訪問④
13	グループ討論③
14	グループ発表① ー公開授業ー
15	グループ発表② ー公開授業ー
16	予備日

【履修上の注意事項】

- (1) 講義に連続性を有することを念頭に置いてもらいたい。
- (2) 正課時間外でのスキルアップのために、キャリア支援課の利活用を推奨する。
- (3) キャリア入門の同時受講を推奨する。

【評価方法】

出席（50%）、提出物（25%）、授業態度（25%）で評価する。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考文献】

講義中に指示する。

文章表現入門

担当教員 大田 よしみ

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期・後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義は、ビジネス文書を中心とする講義を通して「働く意味」を理解することが目的である。キャリア教育科目群における「文章表現入門」では、1) 自分とはどういう人物なのか、2) ビジネス文書と通常の文書の違いとは何か、3) 傾聴力や発進力とは何か、などを理解する。本講義を契機としてキャリア支援課の利活用を促し、進路決定に貢献したい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	就職活動の進め方
3	就職試験の概要
4	自分を知る① —今の自分を知る—
5	自分を知る② —他人から見た自分—
6	自分を知る③ —これからの自分について考える—
7	ビジネス用語について
8	ビジネス文書の記述方法
9	企業から学ぶ（企業が求める人材とは）
10	文章表現①（新聞記事を読み込んでレポートを作成）
11	文章表現②（自己PRシートの作成）
12	自己PR実践①（模擬面接）
13	自己PR実践②（模擬面接）
14	自己PR実践③（模擬面接）
15	まとめ（考察およびレポート提出）
16	予備日

【履修上の注意事項】

- (1) 講義に連続性を有することを念頭に置いてもらいたい。
- (2) これまで通っていた教育機関（小学校、中学校、高等学校ほか）から渡された成績表などからも自分の特徴を知ることができるので参照してもらいたい。
- (3) 正課時間外でのスキルアップのために、キャリア支援課の利活用を推奨する。
- (4) キャリア入門の同時受講を推奨する。

【評価方法】

出席（50%）、提出物（25%）、出席態度（25%）で評価する。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考文献】

講義中に指示する。